

大林道路のサステナビリティ

当社は、2009年度に「CSR推進の枠組み」を整備し、CSR（企業の社会的責任）を経営に取り入れています。気候変動や人権への配慮など企業を取り巻く社会・環境課題の多様化に伴い、持続可能な社会の形成に向けた取り組みの方向性を、より明確に位置づけるためCSR基本方針を見直し、2020年12月に「大林道路サステナビリティ基本方針」に改定しました。

サステナビリティ基本方針・行動指針

サステナビリティ基本方針

大林道路は企業理念に基づき、全てのステークホルダーに対し誠実であり続け、社会基盤整備を担う当社の事業を通じ、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

サステナビリティ行動指針

サステナビリティを支える基盤

企業倫理と人権を尊重し、コンプライアンスを徹底します

ステークホルダーの信頼に応え、透明性の高いガバナンス、リスクマネジメントを実現します

環境

事業活動を通じて環境保全に努め、持続可能な社会の実現に向けて、気候変動や資源保護などの問題解決と、脱炭素、循環型社会の形成に貢献します

従業員

従業員一人ひとりの人権と能力を尊重し、従業員と家族のために多様な人材が生き生きと働ける、安全で健康的な職場づくりを推進します

顧客

公正な事業活動を通じて信頼関係を築くとともに、時代を先取りした技術で高品質の製品とサービスを提供します

調達先

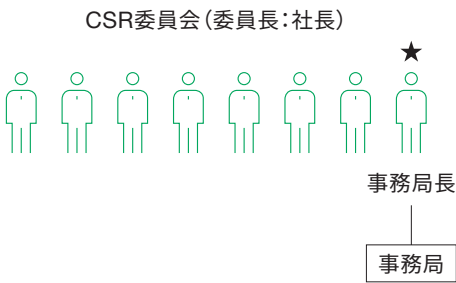
公正で透明性のある取引関係を構築し、良きビジネスパートナーとして、共に社会の期待に応えます

地域社会

良き企業市民として、地域社会とともに、その発展に貢献します

サステナビリティ活動推進体制

ステークホルダーの皆様からの要請は多様化しており、サステナビリティ活動で対応すべき内容は多岐にわたるようになってきました。当社では、社長を委員長とし、関係役員と事務局長とで構成される「CSR委員会」を設置し、サステナビリティ活動を幅広く推進しています。



BUILD & CONNECT

人と街と未来をつなぐ



ESG重要課題(マテリアリティ)

当社は、親会社である株式会社大林組が特定した6つの「大林グループのESG重要課題」に基づきESG経営を推進しています。事業施策にマテリアリティを組み込み推進するとともに、SDGsと関連づけて活動することで、中長期的な成長と持続可能な社会の実現を目指します。

E	環境に配慮した社会の形成	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
	品質の確保と技術力の強化	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
S	労働安全衛生の確保	3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きがいも 経済成長も			
	人材の確保と育成	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平等 をなくそう	16 平和と公正を すべての人に
G	責任あるサプライチェーン マネジメントの推進	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	コンプライアンスの徹底	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	